



近隣農家視察研修

8月6日、上富良野町の大角農場さんでビールの香り付けに利用されるホップの栽培圃場を見学しました。道内でもごく限られた地域にしか生産されていませんので、栽培現場の見学は貴重な体験となりました。



まもなく収穫が始まるポップは仰ぎ見る高さに成長していました。

道央視察研修

(8月24～25日)

例年、6月に1泊2日で実施している研修ですが、道内の緊急事態宣言を受け延期となり、今年は8月

の実施となりました。

一日目

岩見沢農業高校(岩見沢市)

110年を超える歴史があり、現在、農業科学科や畜産科学科など7学科を有する道内最大の農業高校です。文科省より「スーパーサイエンススクール」の指定を受けています。訪問当日は9月のグローバルGAPの審査に向けた事前審査を行っており、その様子も見学しました。



事前審査会場では高校生のGAP担当者が指導員から説明を受けていました。

有限会社NOAH(南幌町)

Nは農産物、Oは美味しい、Aは安心・安全、Hはヘルシーが会社の名前の由来で米、麦、野菜を生産しています。代表の鍋山さんから法人にいたる経緯や経営概要地域の現状について説明していただきました。

二日目

有限会社 余湖農園(恵庭市)

2012年にJGAPを取得し、農業を減らした特別栽培で野菜を生産しています。余湖さんから栽培から販売までの取り組みについて伺いました。



ミニトマトハウスを見学した後、ピュアホワイトを試食させていただきました。



野菜の調整施設や圃場を見学しました。

NOMUキッチン(北広島市)

野菜の直売所と併設されたファームレストランのNOMUキッチンは、農園で栽培した野菜や地域

の食材を使った食事を提供しています。経営者の野村さんからこれまでの取り組みについてお話を伺いました。



野村さんから説明を受けた後、レストランで昼食をいただきました。

(株)押谷ファーム(長沼町)

代表の押谷さんは2000年に新規就農し、現在は主にアスパラやミニトマトを生産しながらオープンガーデンやカフェも運営しています。押谷さんから農業を始める経緯や栽培・経営に対する考えを伺いました。



押谷ファーム自慢のオープンガーデンを見学。450坪あります。